

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

無臭・ 速硬化性

(耐熱水・耐衝撃・耐摩耗)

食品工場
集中給食センター
厨房等に最適

エピソード

UC/UC-Z

抗菌タイプ

水系硬質ウレタンポリマーセメントモルタル床材

環境配慮型



BOTH CO.,LTD.

はじめに

エパールUCは水系ウレタン樹脂とセメント配合特殊骨材とのポリマーセメントモルタルで、無臭・速硬化性で耐熱水・耐薬品・耐衝撃性に優れた新しいタイプの塗床材です。又水系のため無溶剤タイプで、改正建築基準法対応のF☆☆☆☆も取得している極めて安全で環境配慮型の製品です。

特徴

- 1) 耐熱水性—Rタイプでは100℃での熱水や蒸気洗浄に十分耐える。
- 2) 耐薬品性—酸・アルカリに対する耐久性に優れる。
- 3) 耐久性—強靱な塗膜強度を誇り重量物の通行に支障をきたさない。
- 4) 速硬化性—強度の立上がりが早く、施工翌日には作業できる。
- 5) 低温硬化性—低温化でも(5℃)でも施工性が良く翌日作業できる。
- 6) 低臭性—無溶剤でエマルジョンタイプのため有毒なガスが発生しない。
- 7) 環境性—シックハウス対策のF☆☆☆☆を取得。

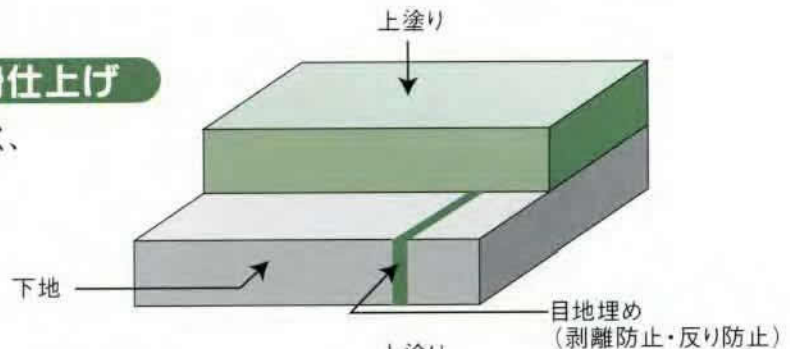
※シックスクール対策も万全です。厚生労働省指定13物質を含みません。

適用場所

左記のような特性を有し、食品工場・厨房・化学工場・上下水道など劣化環境の著しい場所に適する。

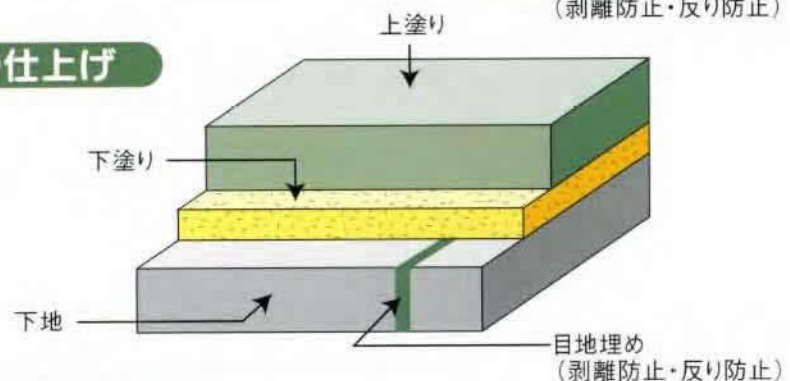
エパールUC：Rタイプ・防滑仕上げ

- 100℃の熱水にも耐え、頑丈で硬化も早く、食品工場・厨房に最適
- 7m/m厚：14kg/m²
- 4～5m間隔で目地切り(5×5m/m)



エパールUC：Fタイプ・平滑仕上げ

- 耐薬品・耐磨耗・耐衝撃性に優れ、化学工場・配送センターに最適
- 上塗り：3～4m/m厚・6～8kg/m²
- 下塗り：1～2m/m厚・2～4kg/m²
- 4～5m間隔で目地切り(5×5m/m)



抗菌剤入り エパールUC-Z Rタイプ・Fタイプ

検体	黄色ブドウ球菌	大腸菌
ブランク	5.9×10 ⁵	6.6×10 ⁶
UC-Z Rタイプ Fタイプ	検出せず	検出せず

※試験方法：抗菌製品技術評議会のフィルム密着法(1998年度版)

荷姿

	品名	容量	内容	性状
主剤	エパールUC-A	16kg・4kg	ポリオールエマルジョン	乳白色液体
硬化剤	エパールUC-B	16kg・4kg	イソシアネート	茶褐色液体
骨剤	骨材R又はF	20kg	セメント配合特殊骨材	着色粉体
促進剤	エパールUC-C	16kg・1kg	特殊エマルジョン	淡黄色液体

エパールUC-Cは気温25℃以下の時、主剤に対し、0.5～5%の範囲で添加する。

エパールUCの各種性能

基本物性

タイプ		Fタイプ	Rタイプ
ポットライフ	20℃	15分	15分
	10℃	15分	15分
	5℃	25分	25分
硬度 (シュアード)	常品7日	80	80
	煮沸3h	80	80
圧縮強度	(MPa)	44	45
曲げ強度	(MPa)	15	14
引張強度	(MPa)	10	10
吸水率 (%)	常品7日	0.23	0.28
	煮沸3h	0.14	0.18

エパールUC接着試験 N/mm²

接着面	Rタイプ	破断状況	Fタイプ	破断状況
コンクリート (乾燥面)	2.94	下地	3.07	下地
コンクリート (湿潤面)	2.92	材料	2.60	下地
コンクリート (油面) マシン油	2.47	界面	2.70	下地
コンクリート (油面) コーン油	1.66	界面	2.49	界面
ウレタン	1.84	下地	2.19	下地
FRP	2.97	下地	2.86	下地
磁器タイル	0	—	0	—
エポキシ	2.98	下地	2.58	下地
鋼板	1.11	界面	0.63	界面



耐薬品性

- ・試験方法: 硬化物を各試験液の中に20℃で7日間浸漬した後の重量変化を測定した。
- ・評価: ◎重量増加率1%未満 ○1~2% △2~3% ×3%以上

試験液	種類	UC-Fタイプ	UC-Rタイプ	耐酸性エポキシ塗り床材 (A社)
水道水		◎	◎	◎
5%食塩水		◎	◎	◎
10%塩酸		◎	◎	◎
10%硫酸		◎	◎	○
10%酢酸		◎	◎	×
40%蟻酸		◎	○	×
25%乳酸		◎	◎	×
オレイン酸		◎	◎	×
1%次亜塩素酸ソーダ		○	○	◎
10%水酸化ナトリウム		◎	◎	◎
飽和水酸化カルシウム		○	○	◎
ひまし油		◎	◎	◎
ミネラルスピリット		◎	◎	◎
メタノール		○	◎	×
トルエン		△	△	×

標準施工法

Fタイプ

1) 下地処理

- ① 旧塗膜の浮き及びコンクリート、モルタルの脆弱部分をハツリとる。
- ② 下地表面のレイタンスをサンディングし、吸塵機で吸い取りきれいにする。
- ③ 施工面の周囲と広さにより、約5m間隔5mm×5mmの日地を切る。

2) 不陸調整

- ① 5mm以上の深さの穴埋めにはエパールUCのRタイプを使用する。
- ② 50mm以上の深さの場合は、Rタイプ1セット48kgに4号珪砂4～5kg増量したものを充填する。
- ③ 5mm以下の場合はエパールUCの主剤と硬化剤を規定量混合し、低速ハンドミキサー(300r/分)で泡を巻き込まないように10秒程度攪拌し、次に骨剤Fを少しずつ加えながら更に2～3分良く攪拌する。
- ④ ③の材料を2～4kg/m²塗布する。(下塗り)

3) 仕上げ塗り

- ① 下塗り後10時間以上を空けて上塗りをする。上塗り前に下塗りの状態を良くチェックしフクレがあればその部分を撤去する。
- ② 3)の①の要領で材料を攪拌し6～8kg/m²をコテで均一に塗りつける。
- ③ セット毎の塗り継ぎは10分以内にすますようにする。

Rタイプ

1) 下地処理 Fタイプに同じ

2) 仕上塗り

- ① 骨材Rをモルタルミキサーに投入する。次にエパールUCの主剤と硬化剤を規定量混合し、低速ハンドミキサーで20～30秒泡を巻き込まないように攪拌しミキサーに投入し更に1～2分攪拌する。
- ② ①の材料を14kg/m²コテで均一に塗りつける。
- ③ 塗り継ぎは10分以内に済ますようにする。

現場開放時間

	15～35℃	5～15℃
歩行	8～12時間	1～2日
重量車輛等	1日	2～5日

施工上の注意

- 1) 材料に消防法上の危険物が含まれるため、火気厳禁のこと。
- 2) Fタイプを夏場に施工する場合、下地表面温度が40℃を越えると、フクレを生じやすくなるので注意する。また、材料も高温(30℃以上)にならないように保管する。
- 3) 混合用容器は多めに用意し、2～3セット混合後、新しい容器に交換する。
- 4) 作業終了後直ちに、使用器具を専用溶剤(ウレタン用シンナー)で洗浄する。コテやミキサーなどは、作業途中でも適宜、洗浄したほうが良い。



グリーン



エンジ



イエロー

※実際の色は見本色と多少異なることがあります。